

# 47期生 学年通信

Vol.24(3年1号)

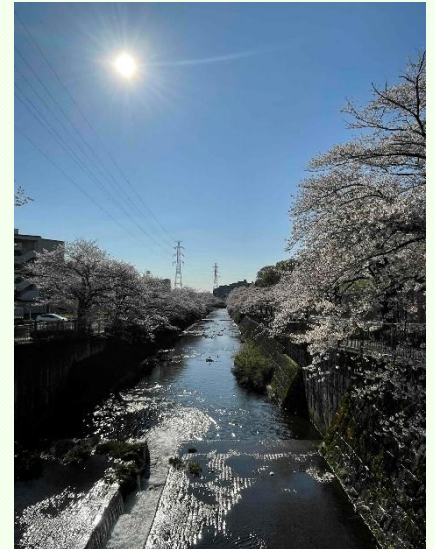
2026.4.23 発行



## ★★ 最終学年 始動!

2026年4月6日、47期生の3年次が始まりました。最上級生として、部活動、委員会、行事に元気に活躍してほしいです。

大学受験を意識して勉強に真剣に取り組んでいこうという雰囲気も感じられます。朝早く来て、教室で自習する様子や、選択科目のない午後に自習スペースで勉強している姿が見られます。



3年生のフロアには新聞閲覧コーナーができました。➡  
朝日、産経、毎日、読売、日本経済、東京の6紙を見ることができます。  
世の中の動きと自分の進路を関連付けて考えるきっかけになれば。



## ★★ オーストラリア海外研修 2026.3.25~31

47期生9名、48期生21名の生徒たちがオーストラリアのゴールドコーストへ行ってきました。

現地交流校の生徒たちやホストファミリーの心の温かさに触れ、充実した時間を過ごしたようです。

(以下、47期生の感想の抜粋です)



★ 学校や大学に訪問して日本の学校との違いを感じました。特に大学で先住民の生活の展示を見てオーストラリアという国がどんな風に形成されてきたのか実際にこの目で見て学ぶことができました。(中略)今回初めての体験が多く行く前は不安でしたがオーストラリアの人々は皆とても優しくてまたいつか、今度は長期留学で来たいなと思いました。そしてこの研修旅行を機にもっと英語の勉強を頑張りたいと思います。

★ 最初、英語が上手く話せるか、またホームステイ先でホストファミリーと上手くやっけていけるか不安でしたが、周りの友達との協力や、オーストラリアの人達の優しさに救われて、最終日にはまだここにいたいと思うくらい充実した7日間でした。

★ 私はオーストラリア研修旅行で、ホームステイをしたことが1番楽しく、思い出に残っています。(中略) 挨拶や食事に対する感想(Good など)など簡単な単語から発してみることを始めてみました。すると、ファミリーは私が発した単語に笑顔で反応してくれました。それがとても嬉しかったのを覚えています。会話らしいことでもなく、まずは英語を発することで話すことへの怖さが段々と薄れていきました。それからは、お互いに質問し合ったり、日本のことを話したりと楽しい時間を過ごすことができました。中頃辺りからは一緒に遊んだり、雑談しながらビーチを歩いたりなど今までの自分からしたら想像できないほど英語で話をするのができ、本当に嬉しかったです。

★ オーストラリアの現地の人々は、朝が早く、朝に運動。食事。すべてにおいて健康的でした。そんなオーストラリアの人たちは、全員、自信に満ち溢れていて、私には輝いて見えました。その姿をみて、この先も毎日の過ごし方を考えて生活したいなと思います。二つ目の英語の伝わる楽しさは、自分に自信とやる気を与えてくれました。私はもともと英語を使って仕事をしたいと思っていたのですが、そのための勉強に対する、モチベーションがなくなりかけていました。しかしオーストラリアに行って、その楽しさを実感して、もう一度頑張りたいなと思いました。



校内にポスターを掲示しています。



### ★★「メッセージ」新芽→花→大樹へ

1年次から発行しているこの学年通信ですが、前学年主任の鈴木薫先生が作成していました。毎回、最後のページに小さなイラストがついていましたがお気づきでしたでしょうか。1年目は「新芽」。2年目は「花」でした。小さな新芽から、花を開き、そして大きな樹へと育って行ってほしいという鈴木先生の思いが込められていました。「3年次は大樹に」の願いを引き継いで、作成を担当していきます。(白川)



### ★★ 今後の予定

- 4月: 校外学習(東京ディズニーランド)、定期健康診断
- 5月: 体育祭、中間考査 夏期講習申込開始
- 6月: 模擬試験、生徒面談週間

←体育祭のクラスTシャツの色・サイズ見本。  
デザインは、当日をお楽しみに。



4月18日(土)の保護者会にご参加頂きありがとうございました。  
今年度もよろしくお願いいたします。